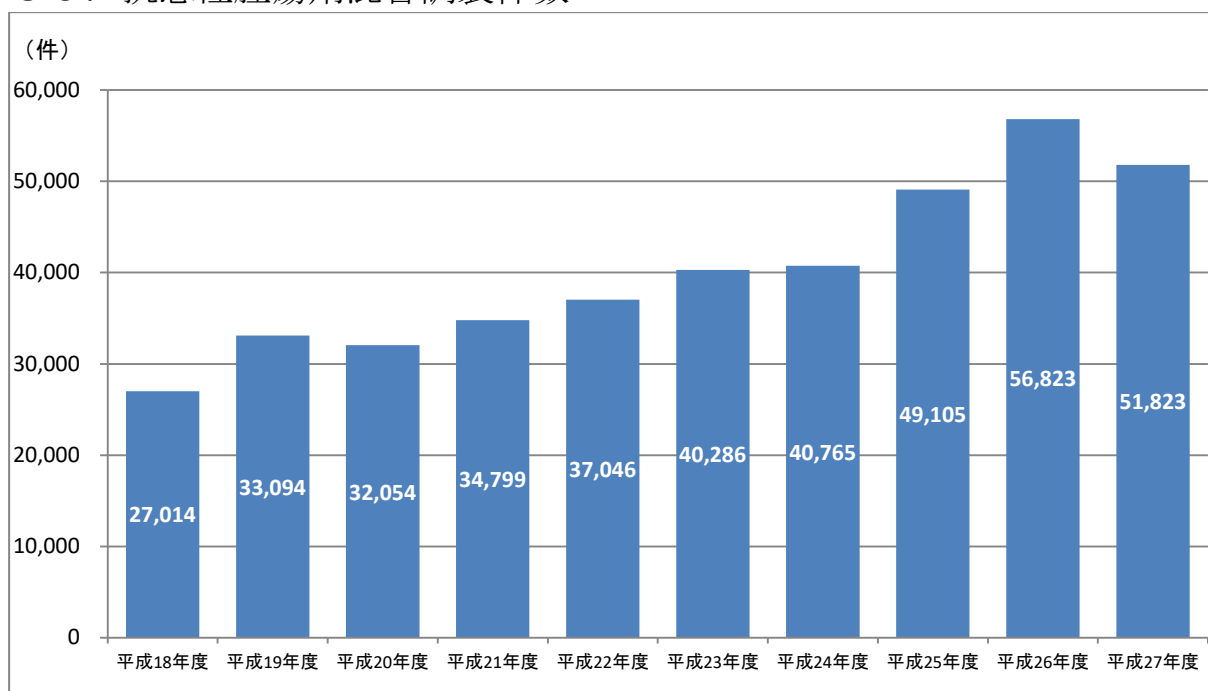


## 8 5. 抗悪性腫瘍剤混合調製件数



上のグラフは入院及び外来にて、抗悪性腫瘍剤の混合調製（ミキシング）を実施した件数を示している。

現在は、外来・入院共に全ての抗悪性腫瘍剤について、レジメンによる抗悪性腫瘍剤のチェックを施行し、取扱者が薬剤被曝しないように安全にミキシングを行うため、薬剤部において安全キャビネットの中で行われている。がん患者の増加と新規抗悪性腫瘍剤の増加、それを使用した治療が増加し複雑化することに伴い、混合調製件数も増加している。

データ提供 薬剤部